

文化の香る坂道のまち 馬込まち歩き

Aコース

貝塚と歴史を訪ねて

新馬込橋	0.9km 18分	馬込貝塚跡	0.7km 14分	浅間神社	0.2km 4分	室生犀星の離れ(茶室)	0.4km 8分	天保二年銘道標	0.3km 5分	宗福寺	0.3km 5分	天祖神社	0.1km 2分	新馬込橋
------	--------------	-------	--------------	------	-------------	-------------	-------------	---------	-------------	-----	-------------	------	-------------	------

【新馬込橋】へのアクセス

- ・都営地下鉄浅草線 馬込駅下車徒歩5分
- ・JR 大森駅より東急バス「荏原町駅入口」行きに乗り、「三本松」下車徒歩1分
- ・JR 大森駅より東急バス「新代田駅前」行き、または「上池上循環【内回り】」に乗り、「馬込駅前」下車徒歩1分
- ・JR 五反田駅より東急バス「川崎駅西口北」行きに乗り、「馬込駅前」下車徒歩1分

MAP A-2
a

新馬込橋+馬込の月

北馬込地区と中馬込地区を南北に結ぶ生活道路としての役割を担っている。平成26年(2014)、新しい橋が竣工し、川瀬巴水の名作12点が陶板にて展示されている。馬込の月は「東京二十景」というシリーズの1点。



MAP A-1
b

浅間神社

享保17年(1732)、当時さかんであった富士信仰に基づいて富士浅間神社を勧請したものと伝えられている。鳥居の右側に手洗石がある。この手洗石は富士登山の安全を祈って富士講中の人々が奉納したものである。



MAP A-1
c

今から四千年以上前の縄文時代中ごろ、馬込にはすでに人々の集落がありました。その生活のあかしが馬込貝塚です。



室生犀星の離れ(茶室)

室生犀星の旧居(萬福寺裏)にあった、昭和8年(1933)に建てられた離れが馬込第三小学校内に移築されている。この離れに多くの親しい友人を泊めたりした。平成13年(2001)、地元の協力を得て茶室として再移築された。



MAP A-2
d

宗福寺

山号を金光山といい、曹洞宗の寺院。宗福寺の庚申塔は天保11年(1840)、村民が道標を兼ねて建てた。塔の下部に狼が三匹彫られている。昭和10年(1935)、当時10歳で亡くなった登志子ちゃんの霊をまつた地藏尊がある。



MAP A-2
e

天祖神社

祭神は伊勢の天照皇大神である。境内には力石が二個ある。祭りの時に力自慢の村の若い衆が高々と差し上げて、見物客の拍手喝采を得た。この周辺は、「お伊勢の森」と呼ばれ、かつて三本松があった。

